

おびひろ動物園の開園日と開園時間の変更について

1 現状と課題について

- (1) 夏期開園について、現在は無休としているが、安全性の確保や作業効率、動物福祉などから、来園者がいない環境で長時間保守管理や動物飼育作業が実施できる休園日を必要としている。
- (2) 冬期開園について、開園日が少なく開園時間も短いことから、これまでも期間や時間の延長を求める声があったほか、本年供用開始の屋内遊戯施設を始めとする各種屋内施設の整備などの環境変化もあり、地元リピーターの増加や観光利用など、ニーズがさらに高まっている。

2 動物園の来園者数と開園日の状況

- (1) 国内動物園の夏期開園期間において、北海道内は無休が多いものの、国内全体では休園日がある園が多い状況。
- (2) 令和7年度冬期開園は、キリン舎の更新など屋内施設の拡充で来園者数が増加、夏期開園平日と同水準になった。今後も、令和8年6月供用開始の屋内遊戯施設等で冬期の利用が見込まれる。

表1 国内動物園83園の夏期開園状況

区分	施設数	施設名
無休	20	おびひろ動物園、旭川市旭山動物園、釧路市動物園 ほか
月2回休園	3	札幌市円山動物園 ほか
週1回休園	60	東京都恩賜上野動物園、名古屋市東山動植物園 ほか

表2 おびひろ動物園の夏期・冬期別の1日当たり来園者数

年度	夏期 平日	夏期 土日祝	冬期 土日祝
H29～R6年度平均（R2・R3除く）	530	1,627	294
R7年度	466	1,476	433

3 変更にあたっての考え方

- (1) 来園者の利便性に配慮しつつ、夏期開園期間中に月2回の休園日を確保することで、来園者がいない環境下で施設保守管理や動物飼育作業を集中的に行い、動物園運営の効率化とより良い観覧環境づくりを図る。
- (2) 近年整備した屋内施設の活用や、通年の来園者の確保に向けて、新たな冬期の利用ニーズを取り込むため、冬期の開園日数を増やすとともに、開園時間について午前と午後に各2時間は利用できる時間を設け、より来園しやすい環境を提供する。

4 開園日と開園時間の変更案

表3 開園日と開園時間の変更内容（案）

	現行	変更案
夏期	《開園日》 4月29日～11月3日の毎日	《開園日》 4月29日～11月3日 ただし、次の休園日を設ける。 ・8月のみ第1・第4水曜日 ・他の月は第2・第4水曜日
	《開園時間》 ・4～9月：9時～16時30分 ・10～11月：9時30分～16時	《開園時間》 ・4～9月：9時～16時30分 ・10～11月：9時30分～16時 ※現行と同じ
	《遊具運行》 上記開園時間と同じ	《遊具運行》 上記開園時間と同じ
冬期	《開園日》 12月1日～2月末日の 土曜・日曜・祝日（年末年始を除く）	《開園日》 11月20日～3月23日の 土曜・日曜・祝日（年末年始除く）
	《開園時間》 11時～14時	《開園時間》 10時～15時

※上表は原則的な開園日と開園時間。暦の配列などにより開園日と開園時間の変更を検討。

夏期に休園日を設定するものの、冬期の開園日と開園時間の拡充により、年間を通じた来園者数の増加が期待できる。

5 今後のスケジュール

令和8年12月：動物園委託業務（債務負担行為の設定）の議案提出
令和9年 1月：動物園委託業務の事業者決定
令和9年 4月：改正した開園日・開園時間での運用開始